

きょうの米原高校(5月21日 1年総合的な探究の時間説明)

今年は例年に比べ、梅雨に入るのがずっと早く、今週はどんよりとした雨天の日が続いています。各地の被害なども気になる今週ですが、米原高校では1学期の中間考査が行われていました。

1年生にとっては高校に入って初めての考査、中学校までと異なり、4日間にわたるこれまでの学びについての確認です。

教室前廊下にはぎりぎりまで範囲を確認するみなさんの姿がありました。



考査終了後、1年生普通類型のみなさんに体育館で「総合的な探究の時間」についての説明会がありました。

米原高校の総合的な探究の時間では、文学、歴史、数理テクノロジー、スポーツ栄養、(国際英語～英語コース、自然環境～理数科)のコースに分かれ、グループ活動や全体学習、実習などを通してさまざまな学問分野の課題探究を行います。

自らの進路決定に役立てる人もあり、大切な学びの時間です。

午後からは、米原消防署の方にお越しいただき、運動部対象のAED講習会を実施しました。

発生しない方が良い万が一の状況。でもそのときに適切に対応できる力を身につけることはとても大切なことです。

高校生は、地域や社会の中ではまだ「守られる子ども」ではありますが、判断力や体力を備えた「大人」としての行動を求められることもあります。今日、講習を受けたみなさんが学校の中だけでなく、その他の場所においても学んだことを有効に活かす力を得られていることを願います。



春の大会まであと2週間。今日から部活動も再開しみなさんの元気な声が校内に響いています。

みなさんが持つ力を存分に発揮できることを期待しています。頑張れ！米高生！